

# 令和8年度 事業計画書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

令和8年度 事業計画

令和8年度 収支予算

一般財団法人油脂工業会館

(令和8年3月25日 理事会提出)



# 令和8年度 事業計画

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

当一般財団法人は、油脂工業に関する調査研究の助成、技術・経営の向上に寄与する優秀論文の表彰等を行うことにより、油脂工業の健全な発展を図り、我が国の国民生活の向上に貢献することを目的に活動を行う。

公益法人制度改革への対応については、公益目的支出計画に基づき公益事業を継続して実施するとともに、内閣府への適正な報告を実施するものとする。

## I. 会議計画

### 1. 定時理事会・評議員会

- (1) 令和8年5月22日 : 定時理事会
  - 令和7年度事業報告及び決算報告書の承認の件
- (2) 令和8年6月 : 定時評議員会
  - 令和7年度事業報告及び決算報告書の承認の件
- (3) 令和9年3月 : 定時理事会
  - 令和9年度事業計画書(案)及び令和9年度予算(案)の審議・承認

### 2. 審査委員会

- (1) 令和8年11月に油脂産業優秀論文の第一次審査委員会を、12月に第二次審査委員会を開催する。
- (2) 令和8年11月に油脂技術優秀論文審査委員会及び令和9年度研究助金授与者の審査を行う。

## II. 事業計画

### 1. 油脂工業に関する調査研究への助成(継続) 【定款 第4条第1項関係】

- (1) 公益社団法人日本油化学会(以下日本油化学会という)に対して、学術誌「Journal of Oleo Science」の出版事業を助成する。  
また、油化学に関する研究技術奨励のために「Journal of Oleo Science」誌掲載の優秀論文に対する「エディター賞」受賞者及び若手研究者を対象として「ヤングフェロー賞」受賞者に対して研究奨励金を寄附する。
- (2) 若手研究者の育成を目的とした研究助成制度として、今年度に決定した令和8年度の助成を4月に実施する。  
令和9年度分の助成は令和8年6月から同年8月末迄に申込みを受け付けるものとする。

## 2. 油脂技術及び油脂産業優秀論文の表彰（継続） 【定款 第4条第2項関係】

(1) 油脂技術優秀論文の表彰は1958年より開始し、本年度で第70回目を数える。

また、油脂産業論文の表彰は1969年より開始し本年度で第58回目を迎える。

これらの表彰事業は、油脂業界関係者の深い理解と協力のもと長い歴史を刻んでおり、業界企業の活性化の一助となっていることはもとより、油化学の発展ならびに国民生活の向上に大きく貢献している。

令和8年度の油脂産業論文は下記の課題テーマで募集する。

- 『油脂産業の魅力とその未来地図』
- 『気候変動と油脂産業』

上記2課題テーマの他に『自由研究論文』を設定する。

(2) 令和7年度の油脂技術論文入賞者及び研究助成金授与者による、第27回「油脂技術優秀論文賞受賞講演会」は、9月5日に広島大学 東千田キャンパスで開催される日本油化学会年会に合わせて開催する。

(3) 令和7年度の油脂産業論文入賞者及び研究会による、第1回「油脂産業優秀論文賞受賞報告会」は、9月14日に油脂工業会館 大会議室で開催します。

## 3. 油脂工業に関する普及及び啓発（継続） 【定款 第4条第3項関係】

日本油化学会との共催事業である「地区講演会」は、関西支部：6月に大阪市及び11月に佐賀市で、東海支部：6月に浜松市で、関東支部：11月に盛岡市のそれぞれ4箇所拠点で原則対面開催する。

## 4. 油脂工業に関する情報の収集及び提供（継続） 【定款 第4条第4項関係】

(1) 1979年にスタートした講演会は、昨年度の2回の開催を加え、第87回目を実施した。

各界の著名人を講師に迎え、その時代に相応しいテーマで、業界関係者だけでなく幅広い方々へ情報を提供している。

本年度も、政治経済・技術・文化の分野から現在のニーズに合ったテーマを選定し春・秋に各1回実施する。

尚、やむを得ず聴講できない方々の要望に対応するため、オンライン配信（見逃し配信も含め）を試験的に実施する。

(2) 油脂業界の中堅社員による「研究会」は、今年で25回目となる。

令和7年度は、「DXによる油脂産業のサプライチェーン変革」という研究テーマで4月末完成を目指して進めております。成果報告会は油脂産業優秀論文を受賞された方々と共に、9月14日に油脂工業会館 大会議室にて実施する。

研究成果は研究報告書として業界関係会社・団体等へ配布し、油脂工業会館のホームページでも公開している。

この研究会は、メンバーの相互啓発・スキルアップにも大いに役立っている。本年度も、新しいテーマで業界各社よりメンバーを募集し実施する。

## 5. 内外関係機関等との交流及び協力（継続）

【定款 第4条第5項関係】

日本油化学会が行う油化学及び油脂工業に関する国際交流事業を支援する目的で寄附を行う。

## 6. 会館の管理運営（継続）

【定款 第4条第6項関係】

- 当館は1963年に竣工し、今年で63年目を迎えた。2006年には耐震補強工事も完了している。引き続き丁寧な維持管理により、長期活用できるよう維持してゆく。
- 附属設備である空調設備、給湯機器、給排水設備等の衛生設備や照明設備の経年劣化に対する補修・更新、省エネルギー対策の実施や安全・防災対策についても中長期計画に基づいて実施しており、今年度も継続する。
- 当会館のイメージアップと環境対応も考慮し、当館前歩道の植栽や屋上での緑化活動を進めており、今年度も活動を継続する。
- 機器・設備類の軽微な補修等は、出来るだけ会館内で実施する体制を整え、経費削減も含め、これを維持継続するものとする。
- 令和8年3月末で2件の退居がある。原状回復工事を行い、新しい入居者募集および受け入れ準備を進める。出来る限り、満室状態を維持出来るようにテナント様へのサービス維持・向上はもとより、照明のLED化やトップランナーの個別空調などへの更新を行い、省エネ・温暖化防止対策も進め、安定した収益体制の維持に努める。
- 最近の物価高騰に伴い、賃貸室料も上昇傾向にある。賃貸室料の見直しを進める。

## Ⅲ. 事務局計画

### 1. 一般財団法人格維持に対する対応

公益目的支出計画に基づき、令和7年度に実施した項目について内閣府へ届け出るものとする。

### 2. 公益活動の振り返り

社会環境の変化に伴い、今後の公益活動の在り方を継続検討する。

### 3. 会館ビル運営の今後

今後の会館ビル運営について考えて行く。

以上

# 収支予算書(資金ベース)

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	項番	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>	1				
<b>1. 事業活動収入</b>	2				
①基本財産運用収入	3				
・基本財産賃貸料収入	4	0	0	0	
・基本財産利息収入	5	0	0	0	
②特定資産運用収入	6				
・特定資産利息収入	7	3,910	1,749	2,161	
③事業収入	8				
・賃貸料収入	9	157,183	155,660	1,523	
・共用費収入	10	24,128	22,608	1,520	
④寄付金収入	11				
・論文奨励賞基金収入	12	0	0	0	
⑤雑収入	13				
・受取利息収入	14	90	12	78	
・雑収入	15	2,500	2,700	△ 200	会議室料、自販機
⑥他会計からの繰入金収入	16				
・寄附金収入	17	19,500	21,000	△ 1,500	
<b>事業活動収入計</b>	18	207,311	203,777	3,534	
<b>2. 事業活動支出</b>	19				
①事業費支出	20	143,536	137,152	6,384	
②管理費支出	21	2,335	2,277	58	
③他会計への繰入金支出	22				
・寄附金支出	23	19,500	21,000	△ 1,500	
④法人税住民税等	24	14,900	15,500	△ 600	
<b>事業活動支出計</b>	25	180,271	175,929	4,342	
<b>事業活動収支差額</b>	26	27,040	27,848	△ 808	
<b>II 投資活動の部</b>	27				
<b>1. 投資活動収入</b>	28				
<b>投資活動収入計</b>	29	3,036	0	3,036	
預り敷金受入収入	30	3,036	0		
<b>2. 投資活動支出</b>	31				
①特定資産取得支出	32				
・建物改修引当資産取得支出	33	10,000	20,000	△ 10,000	
・退職給付引当資産取得支出	34	1,660	1,578	82	
②固定資産取得支出	35	31,200	66,500	△ 35,300	
③預り敷金返還支出	36	4,206			
<b>投資活動支出計</b>	37	47,066	88,078	△ 41,012	
<b>投資活動収支差額</b>	38	△ 44,030	△ 88,078	44,048	
<b>III 財務活動収支の部</b>	39				
<b>財務活動収支差額</b>	40	0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>	41	3,000	3,000	0	
<b>当期収支差額</b>	42	△ 19,990	△ 28,250	8,260	
<b>前期繰越収支差額</b>	43	167,839	147,827	20,012	
<b>次期繰越収支差額</b>	44	147,849	119,577	28,272	

収支予算書（損益ベース）  
 (令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

令和8年3月25日  
 (単位：千円)

科目	項番	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部	1				
1. 経常増減の部	2				
(1) 経常収益	3				
①基本財産運用益	4				
基本財産貸貸料収入	5	0	0	0	
基本財産利息収入	6	0	0	0	
②特定資産運用収入	7				
特定資産利息収入	8	3,910	2,629	1,281	
③会館運営事業収入	9				
貸貸料収入	10	157,183	155,660	1,523	
共用費収入	11	24,128	22,608	1,520	
④雑収益	12				
受取利息	13	90	12	78	
雑収入	14	2,500	2,700	△ 200	
(経常収益計)	15	187,811	183,609	4,202	
(2) 経常費用	16				
①実施事業等（公益）事業費	17	21,843	20,403	1,440	
給与手当	18	1,902	1,847	55	従事割合（10%配賦）
福利厚生費	19	314	300	14	"
退職給付費用	20	166	158	8	"
旅費・宿泊費	21	800	700	100	
式典費	22	2,200	2,000	200	
表彰金	23	3,150	3,300	△ 150	
審査料	24	1,850	1,850	0	
講演費	25	1,500	800	700	
印刷製本費	26	950	900	50	
通信費	27	250	200	50	
寄附金	28	800	800	0	
助成金	29	4,000	4,000	0	
共催金	30	1,000	1,000	0	
交際費	31	900	600	300	
雑費	32	150	150	0	
会館運営事業費からの費用配賦	33	1,911	1,798	113	使用面積割合（1.5%配賦）
②会館運営事業費	34	145,160	137,077	8,083	
給与手当	35	16,167	15,699	468	従事割合（85%配賦）
福利厚生費	36	2,666	2,546	120	"
退職給付費用	37	1,411	1,341	70	"
ビル管理委託費	38	41,160	41,160	0	使用面積割合(98.0%配賦)
保守保全費	39	4,900	5,684	△ 784	"
修繕費	40	11,133	5,782	5,351	"
光熱水料費	41	10,290	11,270	△ 980	"
備品費	42	2,254	1,568	686	"
消耗品費	43	1,176	1,176	0	"
保険料	44	789	652	137	"
租税公課	45	26,264	26,264	0	"
印刷製本費	46	98	98	0	"
交通費	47	392	392	0	"
交際費	48	1,470	1,470	0	"
会議費	49	98	98	0	"
通信費	50	392	392	0	"
諸会費	51	490	490	0	"
雑費	52	2,450	2,450	0	"
減価償却費	53	21,560	18,545	3,015	"
③管理費	54	2,527	2,451	76	
給与手当	55	951	923	28	従事割合（5%配賦）
福利厚生費	56	157	150	7	"
退職給付費用	57	82	79	3	"
役員会費	58	700	700	0	
会館運営事業費からの費用配賦	59	637	599	38	使用面積割合（0.5%配賦）
(経常費用計)	60	169,530	159,931	9,599	
投資有価証券評価損益等	61			0	
(当期経常増減額)	62	18,281	23,678	△ 5,397	
2. 経常外増減の部	63				
(1) 経常外収益	64				
経常外収益計	65	0	0	0	
(2) 経常外費用	66	0	0	0	
経常外費用計	67	0	0	0	
(当期経常外増減額)	68	0	0	0	
他会計振替額	69	19,500	21,000	△ 1,500	
税引前一般正味財産増減額	70	18,281	23,678	△ 5,397	
法人税・住民税及び事業税	71	14,900	15,500	△ 600	
当期一般正味財産増減額	72	3,381	8,178	△ 4,797	
一般正味財産期首残高	73	606,055	592,859	13,196	
一般正味財産期末残高	74	609,436	601,037	8,399	
II 指定正味財産増減の部	75			0	
論文奨励賞基金収入	76	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	77			0	
指定正味財産期首残高	78	44,500	44,500	0	
指定正味財産期末残高	79	44,500	44,500	0	
III 正味財産期末残高	80	653,936	645,537	8,399	

収支予算書内訳表（損益ベース）

令和8年3月25日

（令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）

（単位：千円）

科目	項番	実施事業等会計					その他会計 会館運営事業	法人会計	内部取引消去	合計
		継1(表彰)	継2(助成)	継3(講演)	共通	小計				
I 一般正味財産の部	1									
1. 経常増減の部	2									
(1) 経常収益	3									
①基本財産運用益	4									
基本財産貸貸料収入	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産利息収入	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②特定資産運用収入	7									
特定資産利息収入	8	280	150	0	555	985	2,925	0	0	3,910
③会館運営事業収入	9					0				0
貸貸料収入	10	0	0	0	0	0	157,183	0	0	157,183
共用費収入	11	0	0	0	0	0	24,128	0	0	24,128
④雑収益	12					0				0
受取利息	13	0	0	0	15	15	75	0	0	90
雑収入	14	0	0	0	0	0	2,500	0	0	2,500
(経常収益計)	15	280	150	0	570	1,000	186,811	0	0	187,811
(2) 経常費用	16									
①実施事業等(公益)事業費	17	9,240	5,005	3,260	4,338	21,843	0	0	0	21,843
給与手当	18	0	0	0	1,902	1,902	0	0	0	1,902
福利厚生費	19	0	0	0	314	314	0	0	0	314
退職給付費用	20	0	0	0	166	166	0	0	0	166
旅費・宿泊費	21	700	0	100	0	800	0	0	0	800
式典費	22	2,200	0	0	0	2,200	0	0	0	2,200
表彰金	23	3,150	0	0	0	3,150	0	0	0	3,150
審査料	24	1,650	200	0	0	1,850	0	0	0	1,850
講演費	25	0	0	1,500	0	1,500	0	0	0	1,500
印刷製本費	26	650	0	300	0	950	0	0	0	950
通信費	27	150	0	100	0	250	0	0	0	250
寄附金	28	0	800	0	0	800	0	0	0	800
助成金	29	0	4,000	0	0	4,000	0	0	0	4,000
共催金	30	0	0	1,000	0	1,000	0	0	0	1,000
交際費	31	700	0	200	0	900	0	0	0	900
雑費	32	40	5	60	45	150	0	0	0	150
会館運営事業費からの配賦	33	0	0	0	1,911	1,911	0	0	0	1,911
②会館運営事業費	34	0	0	0	0	0	145,160	0	0	145,160
給与手当	35	0	0	0	0	0	16,167	0	0	16,167
福利厚生費	36	0	0	0	0	0	2,666	0	0	2,666
退職給付費用	37	0	0	0	0	0	1,411	0	0	1,411
ビル管理委託費	38	0	0	0	0	0	41,160	0	0	41,160
保守保全費	39	0	0	0	0	0	4,900	0	0	4,900
修繕費	40	0	0	0	0	0	11,133	0	0	11,133
光熱水料費	41	0	0	0	0	0	10,290	0	0	10,290
備品費	42	0	0	0	0	0	2,254	0	0	2,254
消耗品費	43	0	0	0	0	0	1,176	0	0	1,176
保険料	44	0	0	0	0	0	789	0	0	789
租税公課	45	0	0	0	0	0	26,264	0	0	26,264
印刷製本費	46	0	0	0	0	0	98	0	0	98
交通費	47	0	0	0	0	0	392	0	0	392
交際費	48	0	0	0	0	0	1,470	0	0	1,470
会議費	49	0	0	0	0	0	98	0	0	98
通信費	50	0	0	0	0	0	392	0	0	392
諸会費	51	0	0	0	0	0	490	0	0	490
雑費	52	0	0	0	0	0	2,450	0	0	2,450
減価償却費	53	0	0	0	0	0	21,560	0	0	21,560
③管理費	54	0	0	0	0	0	0	2,527	0	2,527
給与手当	55	0	0	0	0	0	0	951	0	951
福利厚生費	56	0	0	0	0	0	0	157	0	157
退職給付費用	57	0	0	0	0	0	0	82	0	82
役員会費	58	0	0	0	0	0	0	700	0	700
会館運営事業費からの配賦	59	0	0	0	0	0	0	637	0	637
(経常費用計)	60	9,240	5,005	3,260	4,338	21,843	145,160	2,527	0	169,530
投資有価証券評価損益等	61									0
(当期経常増減額)	62	△ 8,960	△ 4,855	△ 3,260	△ 3,768	△ 20,843	41,651	△ 2,527	0	18,281
2. 経常外増減の部	63									
(1) 経常外収益	64									
(経常外収益計)	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(経常外費用計)	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(当期経常外増減額)	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	69	0	0	0	19,500	19,500	△ 22,027	2,527	0	0
税引前一般正味財産増減額	70	0	0	0	0	△ 1,343	19,624	0	0	18,281
法人税・住民税及び事業税	71	0	0	0	0	0	14,900	0	0	14,900
(当期一般正味財産増減額)	72	0	0	0	0	△ 1,343	4,724	0	0	3,381
一般正味財産期首残高	73	0	0	0	0	0	606,055	0	0	606,055
一般正味財産期末残高	74	0	0	0	0	△ 1,343	610,779	0	0	609,436
II 指定正味財産増減の部	75									
論文奨励賞基金収入	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(当期指定正味財産増減額)	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	78					44,500	0	0	0	44,500
指定正味財産期末残高	79					44,500	0	0	0	44,500
III 正味財産期末残高	80	0	0	0	0	43,157	610,779	0	0	653,936